

2006 年度

科目名 コンピュータ技術基礎Ⅱ	対象学科・学年 文学部日文1回生	担当者 宇都宮啓吾
授業テーマ 学内 LAN・パソコンを利用した専門的研究の基本的内容を学習する。		
授業の概要と目標 この講義では、ローカルネットのできることとインターネットのできることとの違いを理解した上で、二回生以降で行う専門的研究の能力を身に付けることを目指します。履修にあたっては「コンピュータ技術基礎Ⅰ」の内容を理解していることが前提となります。具体的には Word および Excel を使用した効果的な資料作成の方法、またその他のプログラムを利用する方法を学びます。		
評価方法 授業の出席日数（40％）と課題提出状況（40％）、課題への取り組み方（20％）などを総合的にみた上で評価します。		
テキスト 講義中に配付する、教材・資料等で行います。	著者	出版社
参考書	著者	出版社
授業スケジュール・内容 前期に引き続き、パソコンの基礎的な操作方法を学びます。ただし、前期が全学共通科目として概括的なパソコンの使用法の学習であったのに対し、後期はより日本語日本文学研究に特化した学習を行います。具体的には Word を使用したレジュメの作り方、Excel を使用した資料の作り方、そして電子メディアと非電子メディアをどのように接触させるかを理解し、これからの四年間を「便利」に生き抜く知恵を身に付けましょう。		
	題 目	内 容
1 回	ローカリエリアルネット基礎	ローカリエリアルネットでの基礎的事項の確認（「コンピュータ技術基礎Ⅰ」の復習的内容を含む）
2 回	インターネット基礎	インターネットにおける日本語日本文学研究の利用（「コンピュータ技術基礎Ⅰ」の復習的内容を含む）
3 回	ワープロソフト(その1)	Word およびその他ワープロソフトの紹介、Word の基本的機能の確認
4 回	ワープロソフト(その2)	文書作成実習Ⅰ
5 回	ワープロソフト(その3)	文書作成実習Ⅱ
6 回	ワープロソフト(その4)	より高度な文書作成
7 回	表計算ソフト(その1)	日本語日本文学研究を目的とした Excel の使用について
8 回	表計算ソフト(その2)	研究資料作成実習Ⅰ
9 回	表計算ソフト(その3)	研究資料作成実習Ⅱ
10 回	表計算ソフト(その4)	より専門的な研究資料作成
11 回	電子メディアと非電子メディア (その1)	非電子データと電子データとにおける特質のみきわめと相互利用の形式について学習する
12 回	電子メディアと非電子メディア (その2)	非電子データを電子データに変換するための基礎的能力の養成
13 回	研究資料作成(その1)	特定のテーマに沿った専門的研究資料の作成を行う
14 回	研究資料作成(その2)	特定のテーマに沿った専門的研究資料の作成を行う
15 回	総括	本講義のまとめ
【注意事項】 この講義は前期開講の「コンピュータ技術基礎Ⅰ」の単位を取得していることが履修の前提となっています。		